


令和4年度
都留まなびの未来づくり推進機構
活動報告・今後の方向性について

○予算化（令和4年度当初予算）・国の地方創生推進交付金採択

▶予算概要

2	学びのみらいづくり事業	リーディングプロジェクト	【新規】	担当部署	企画課
		【事業概要・目的】			
		<p>都留文科大学をはじめとした市内3つの高等教育機関等の地域資源や都市部の企業人材を活用する中で、従来型の詰め込み型教育ではなく、主体的に学び自ら考える力を養うことを目的とし、子どもたちの好奇心をかき立て、学びを加速させる本市ならではの「探究型学習」を柱とした新たな特色ある教育プログラムと探究の場を創出します。</p> <p>令和4年度は、「企業版ふるさと納税（人材派遣型）」制度を活用し、都市部企業からの支援を受け、探究型学習における教育環境の構築及び体制整備を行います。</p>			
		事業費	財源内訳		
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
	36,450	10,225		15,800	10,425

⇒事業の財源には国の地方創生推進交付金と企業版ふるさと納税を活用

▶交付金概要（5年間）

「都留市探究型学習塾・市民大学×デジタル人材育成を通じた地域課題解決人材育成事業」

期間：5年間（2022年～2026年）※企業版ふるさと納税のインセンティブ活用により

探究型学習塾の実施主体である法人の設立、事業プログラムの構築、法人における学びのプレイヤーの育成などを実施し、本市の長期総合計画における教育分野の充実化を図ることを目的として申請し採択。

（その他、市民大学や生涯学習環境におけるデジタル人材の育成に係る経費も計上

・・・交付対象事業費5年間計：114,975千円）

○企業版ふるさと納税の活用・包括連携協定の締結

令和4年1月 株式会社ニコン日総プライム（NNP）より企業版ふるさと納税（人材派遣型）の打診

○ 企業版ふるさと納税(人材派遣型)の基本スキーム



令和4年3月 都留市・NNP、および都留市とNNPの仲介を担った一般社団法人つながる地域づくり研究所による、3者での包括連携協定を締結



⇒本制度による派遣人材が主体となって「まなびの未来づくり事業」を推進することに

○まなびの未来タスクフォースの実施・法人の設立

- 令和4年5月 石井参与を中心に都留市企画課内でタスクフォースを作り役所内での方向性の決定
事業を推進する法人の設立に向けて準備開始
- 令和4年7月 設立時理事が決定（都留文科大学杉本名誉教授・(株)つるでつながる奈良代表・石井参与）
- 令和4年9月 **一般社団法人都留まなびの未来づくり推進機構設立**

○一般社団法人都留まなびの未来づくり推進機構

事業の3つの柱

(1) 子どもたちが探究型学習をする機会の提供

- ・探究まなび場「つるラボ」・・・平日放課後・休日イベント

(2) 教育人材が探究型学習について学ぶ機会の提供

- ・探究型学習フォーラム、ゼミナール・・・教員や保育士または保護者が学びあう場

(3) 探究型学習の効果測定に関する研究

- ・教育系大学や民間研究機関との共同研究、つるラボを舞台とした効果測定、追跡調査



○一社)都留まなびの未来づくり推進機構 5R4年度活動実績と予定

◆関連事業例の視察

- ・10月～1月 大明保育園(南ア市)、子どもの村小中学校(南ア市)、ぐうたら村(北杜市)
- ・2月8、9日 延岡市役所及び延岡こども未来創造機構の視察・意見交換会

◆つるラボオープニングイベント

- ・1月22日 映画「夢みる小学校」自主上映会&校長座談会 都留文科大学 参加者136名

◆市内保育施設、小・中学校訪問

・1月～2月 市内14施設を訪問し、現状や課題などをヒアリング中(現在12施設完了)。すべて終了した段階でレポートを発行する予定。

◆指導者向けセミナー「今、なぜ探究型学習か？」 3月6日 都留文科大学 邊見講師 対象: 教員、保育士

◆自然の中で子どもの教育を語り合う対話型イベント

2月、3月(2回開催) 宝の山ネイチャーセンター 佐藤学芸員 対象: 市内の親子数組

◆東京大学フィールドスタディ型政策協働プログラムとの連携

- ・東京大学フィールドスタディ型政策協働プログラムに課題提案自治体として採択
- 4月 参加学生を募るためプレゼンテーション実施
- 6月 参加学生5名が決定しオンラインにて子ども向けプログラム作成、効果検証方法について協議
- 8月 現地活動実施
- 12月 「東大生とオリジナルタワーを作ろう！」を実施
- 2月 「チョークを守れ！～東大生からの挑戦状～」を実施
- 令和4年度東大FS現地報告会を実施

⇒令和5年度も東大フィールドスタディの協力自治体として出展予定



3/6(月)
開催

『今、なぜ
探究型学習か？』

つる
ラボ
(公益財団)

みんなでつくる、大人の「まなび場」

探究学習とは、自ら課題を設定し、解決に向けて情報を収集したり、周囲の人と意見交換・協働しながら進めていく学習活動のこと。小学校や中学校では「総合的な学習の時間」、高等学校では「総合的な探究の時間」などの科目において、探究学習を導入した授業が行われています。

今回は、「【小学校1～3年生の発達段階に即した探究的な学びのデザインはどうあるべきか?】」について、都留文科大学講師の邊見准先生に講義をいただきます。

後半は参加者の皆さん同士でディスカッションや、グループワークの時間も設ける予定です！みんなで共に学びましょう！

イベント詳細

日時：令和5年3月6日(月)
18時～20時

参加費：無料

対象：教員・保育士(教育・保育に関心のある方であれば誰でも可)

定員：20名程度

会場：都留文科大学5号館5201教室

講師：邊見准
(教養学部学校教育学科講師)

講師紹介

研究テーマ
戦中・戦後における子ども・青年とメディアの関係史

研究内容の紹介
(1)子どもの「育ち」をめぐる諸問題の構造的な理解
(2)子どもの「生」に寄り添う教師像の探究

下記よりお申込み・お問合せください

▼お申込みフォーム ▼つるラボ公式LINE

お申込み・お問合せ

主催：一般社団法人都留まなびの未来づくり推進機構

○一社)都留まなびの未来づくり推進機構 R5年度活動計画

◆つるラボ

- ・平日放課後や土日を利用した探究型学習による学びの場
- ・2023年9月スタートを目標とする。

◆つるラボイベント

- ・大人向け講演会・セミナー等の企画 「みんなの学校」自主上映会も候補。
- ・子ども向け体験型学習イベント 東大FSイベント、夏休みサマーキャンプ、など複数企画
(来期は、東大FS活動の受入れ対応を当法人が引き受ける予定)

◆教育者向けの学びの施策

- ・「つるラボゼミ」
教育現場での探究型学習の実践を考えるゼミナール
月1回(平日夜)開催(全10回) 対象: 教員、保育士 参加費: 7,000円~8,000円/回
- ・「つるラボフォーラム(仮称)」
有識者講演会、つるラボゼミの成果発表、パネルディスカッションなどで構成する予定。
日時: 2024年3月20日 場所: 都留文科大学

◆教育現場の実態調査等

- ・市内保育施設、小・中学校訪問(第2弾)
- ・探究型学習の先行例の視察会

◆従業員研修

4月着任予定の地域おこし協力隊員に、4月~6月の期間で研修等を計画中。